

多自然川づくり取り組み事例

タイトル : 二級河川犀川 河川改修工事(河口～犀川橋)多自然川づくりの取組み		
水系/河川名 : 犀川水系犀川	河川分類 : 中小河川	
河川の流域面 256.3	整備計画流量 : 1230m ³ /s	セグメント : 3
事業 : 河川改修	事業開始年度 昭和54年度	
目標設定 : 定性的	段階 : P(計画時)	
課題・目的(主な) : 貴重種、特定動植物の保全、水環境改善、ワンド・たまり、池沼の保全・再生・創出		
工法(主な) : 築堤、引堤、掘削(河床)、護岸整備、樹木伐採、除根、移植、植樹、管理用道路の整備		
配慮事項(主な) : 河川景観への配慮、歴史・文化への配慮		

背景・課題、目標設定

<背景>

犀川河口にある普正寺の森は、野鳥の採餌や生物多様性にとって重要な場所であるとともに、金沢市郊外にあって一年を通じてバードウォッチングが楽しめる空間となっている。

河川改修を実施するにあたり、普正寺の森を一部伐採する必要が生じるが、これらの環境を可能な限り維持しつつ、水鳥が集まるササゴイの池の再生やワンドの生成などを行う計画としている。

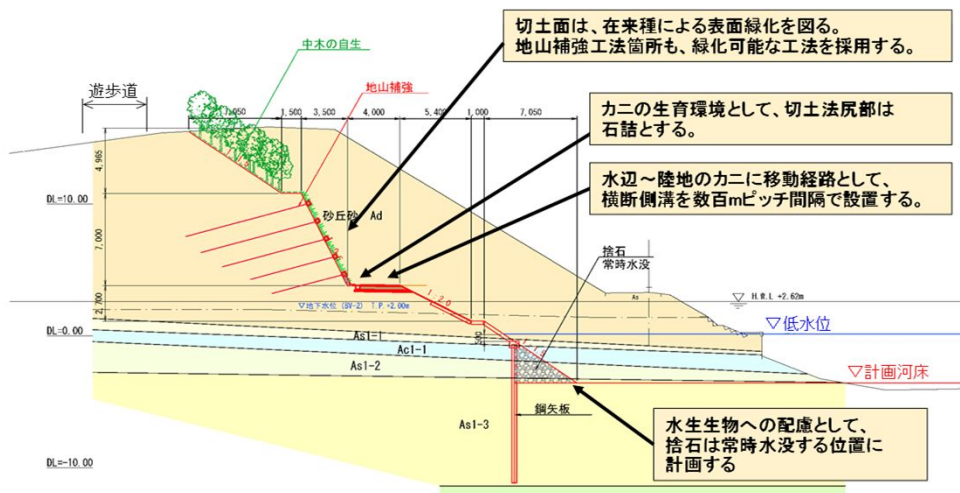
<課題>

- ・野鳥の採餌の場としての環境を維持
- ・都市近郊部で多く生息している事例が少ない陸カニ(アカテガニ、クロベンケイガニ)の生息域を維持
- ・その他、希少種の生息域を維持

取り組み内容・対策例(1/2)

1 鳥類など、動植物への配慮

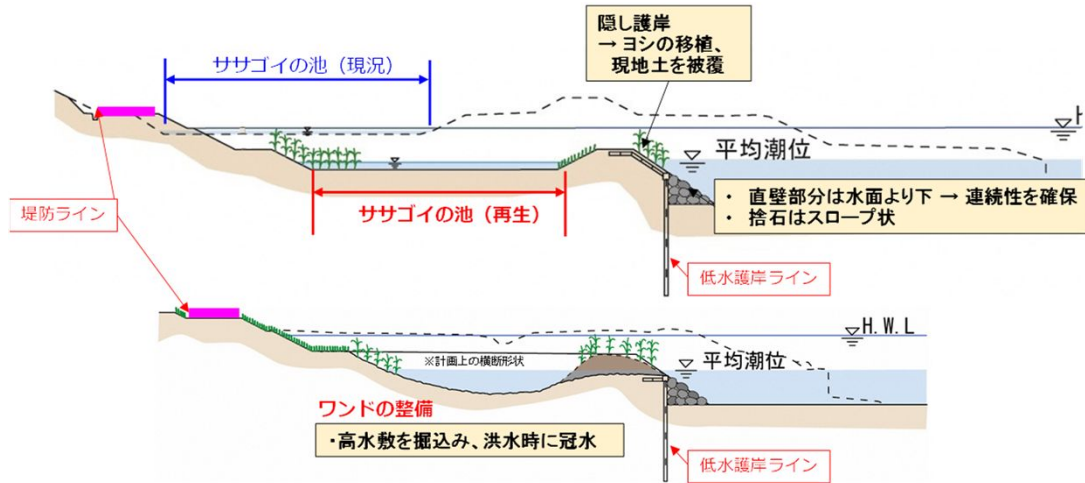
- ・河川改修に伴い、大規模な切り土が必要な区間については、対策の中で植生の自生を促す区間を設け、鳥類への環境保全を配慮



取り組み内容・対策例 (2/2)

2 生物多様性の保全

- ・水鳥が集まるササゴイの池を再建するとともに、高水敷にワンドを整備
- ・ワンドについては、洪水時に冠水する高さに設定し、現在の自然環境に類似した空間を目指す



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

<今後の対応方針>

- ・野鳥の会などの環境団体や学識経験者の意見を踏まえながら、詳細な計画を策定予定

<アピールポイント>

- ・区間の特性に応じたゾーニングを検討した。



ゾーニング① 鳥類への配慮区間	ゾーニング② 遷移区間	ゾーニング③ 生物多様性の保全区間
<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修に伴い、大規模な切り土が必要 ・対策の中で植生の自生を促す区間を設け、鳥類への環境保全を配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・地形の改変が少ない区間 ・上下流の工事中に鳥類やカニ等の生物の一時避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ササゴイの池を再建するとともに、高水敷にワンドを整備 ・改変前の環境を再生することにより生物多様性を保全する区間

備考